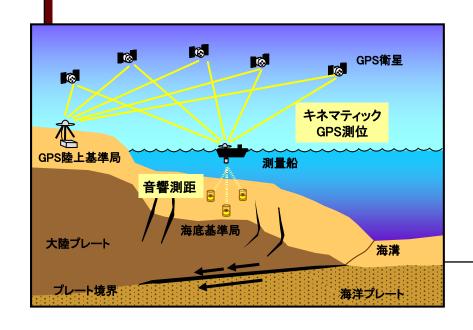


海底地殻変動観測関係の 平成23年度第3次補正予算の概要





海上保安庁海洋情報部

平成23年12月1日 地震調査研究推進本部 政策委員会 調査観測計画部会

平成17年8月30日地震調査推進本部

今後の重点的調査観測について

(一活断層で発生する地震及び海溝型地震を対象とした 重点的調査観測、活断層の今後の基盤的調査観測の進め方一)

- Ⅲ 海溝型地震を対象とした重点的調査観測
- 1. 重点的調査観測の目的と対象

目的 I:地殻活動の現状把握の高度化等地震発生前・後の状況把握対象:南海トラフで発生する東海地震、東南海地震、南海地震、日本海溝・千島海溝周辺の海溝型地震を候補

4. 海溝型地震の重点的調査観測の観点に対する調査観測項目 観点② 地殻変動の現状把握の高度化および観点④ プレート境界地 震の発生モデルの高度化

GPS/音響測距結合方式等による海底地殻変動観測

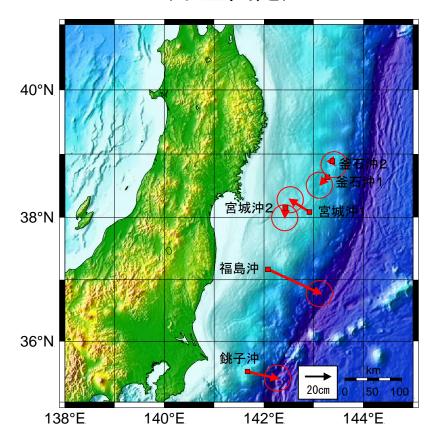
海底地殻変動観測のための海底基準局の復旧・増設

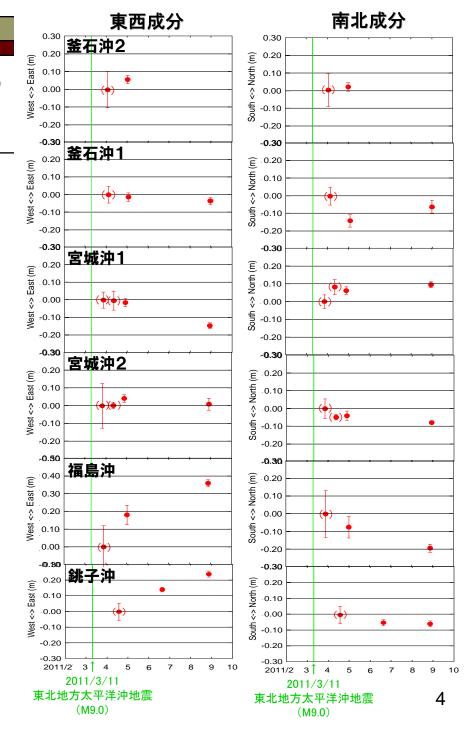
第3次補正予算概要

- □ 東日本大震災復旧・復興関連経費
 - 海底基準局の復旧(3点) (58百万円)
 - →地震により動作不能・不安定となった海底基準局の復旧(宮城沖1、2、福島沖)
 - 海底地殻変動観測の強化 (301百万円)
 - □ 南海トラフへの増設(8点)
 - →「線(1列)」から「面(2列)」へ
 - □ 測量船「海洋」への観測システムの整備
 - →測量船「明洋」、「拓洋」への整備に続き、3隻目

東北地方太平洋沖地震後の海底の動き

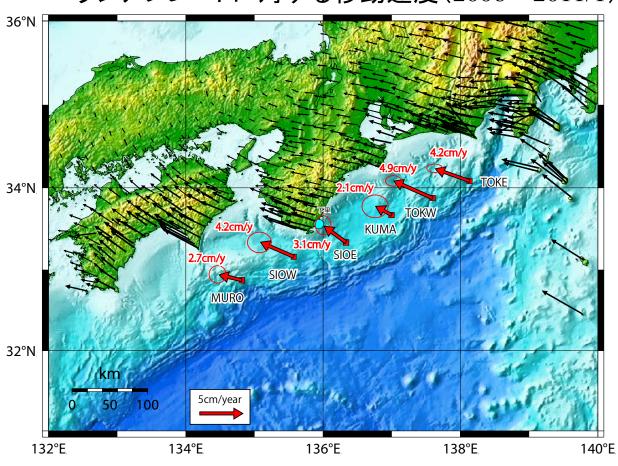
2011年3月末~8月末までの変位量 (下里固定)





南海トラフにおける観測結果

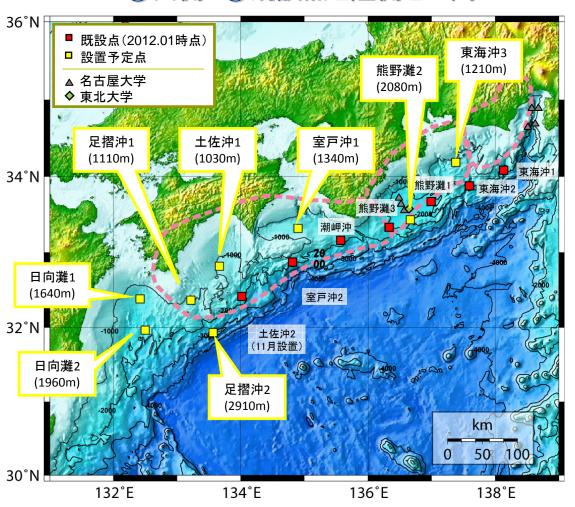
ユーラシアプレートに対する移動速度(2006~2011/1)



- 4~5年間の海底地殻変動を観測
- 空間的不均質が判明

南海トラフへの増設(8点)

目的:観測の空白域を埋める ①西側 ②既設点と陸側との間



設置条件

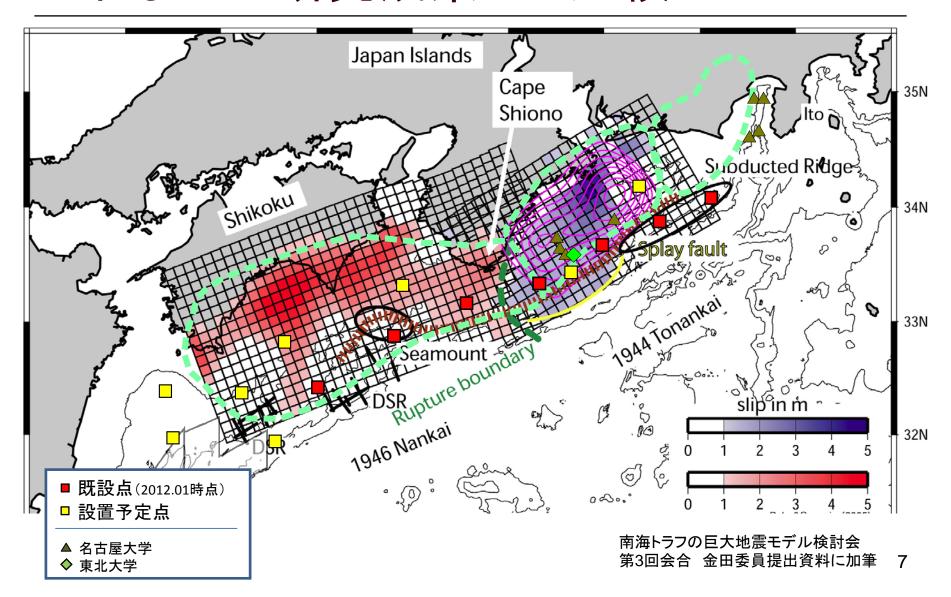
- ·水深 1000~3000m
- 水深+αの広がりで 平らな地形であること
- 海底ケーブルから水深 以上離れていること
- ・活断層の真上でないこと
- ・観測時間(シップタイム)を 確保できる範囲 /

関係機関(国土地理院、 JAMSTEC、大学等)と 調整中

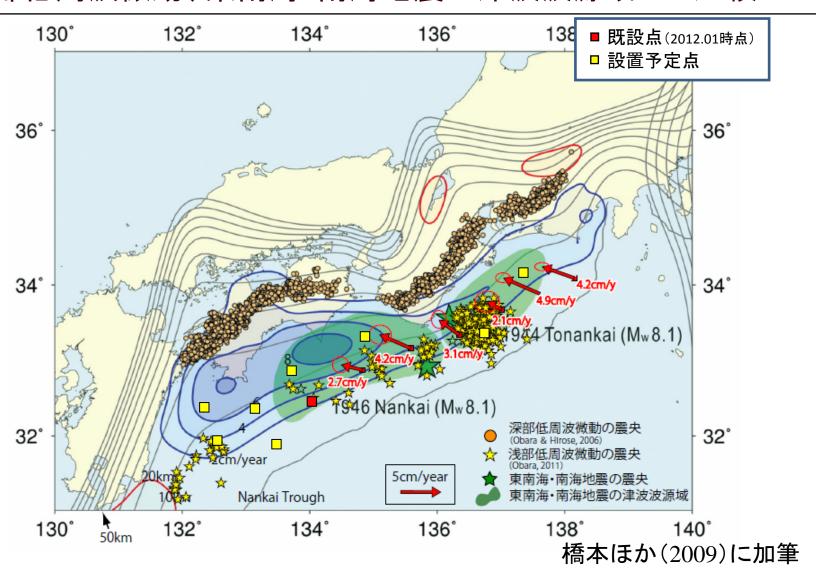
既設点の名称変更(2012/1~)

旧名		新名	深さm
熊野灘	\rightarrow	熊野灘1	2000
潮岬1	\rightarrow	熊野灘3	2000
潮岬2	\rightarrow	潮岬	1550
室戸沖	\rightarrow	室戸岬2	1400

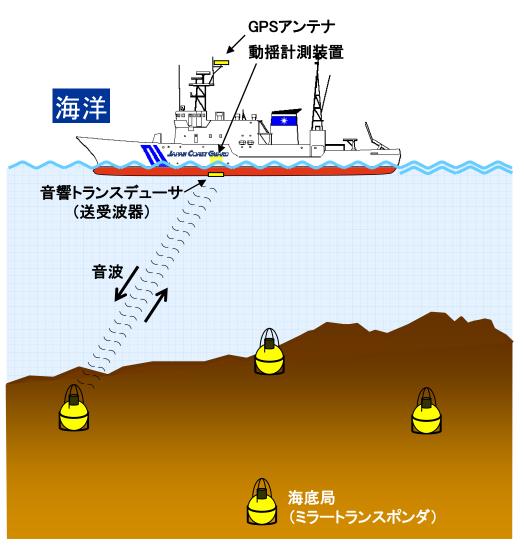
これまでの研究成果との比較



1996-2000年のGEONETデータによるすべり欠損速度、 浅部低周波微動、東南海・南海地震の津波波源域との比較



測量船「海洋」への観測システムの整備



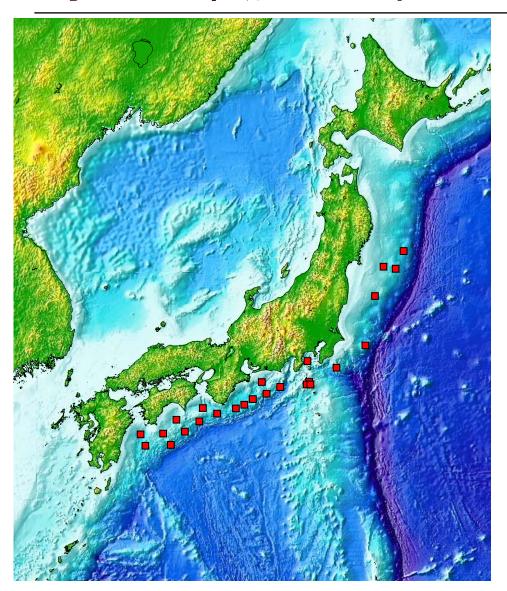


2012年2月 測量船「海洋」に 観測システムを整備予定



3隻体制へ

海底基準点の配置



全25点 【2012年3月末(予定)】